



京都市
CITY OF KYOTO



<報道発表資料>

(教 育 同 時)

令和8年9月25日

京都市西京区役所地域力推進室

京都市西京区役所洛西支所地域力推進室

京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課

京都市教育委員会事務局生涯学習部施設運営担当

京都市西京図書館／京都市洛西図書館

公益財団法人京都市ユースサービス協会

西京区における区役所庁舎等における公共空間のアップデート

～中高生等の若者のためのサードプレイス事業「N i N i」の開始（西京区役所）～
～「まちなかりビング」事業の推進（洛西支所）～

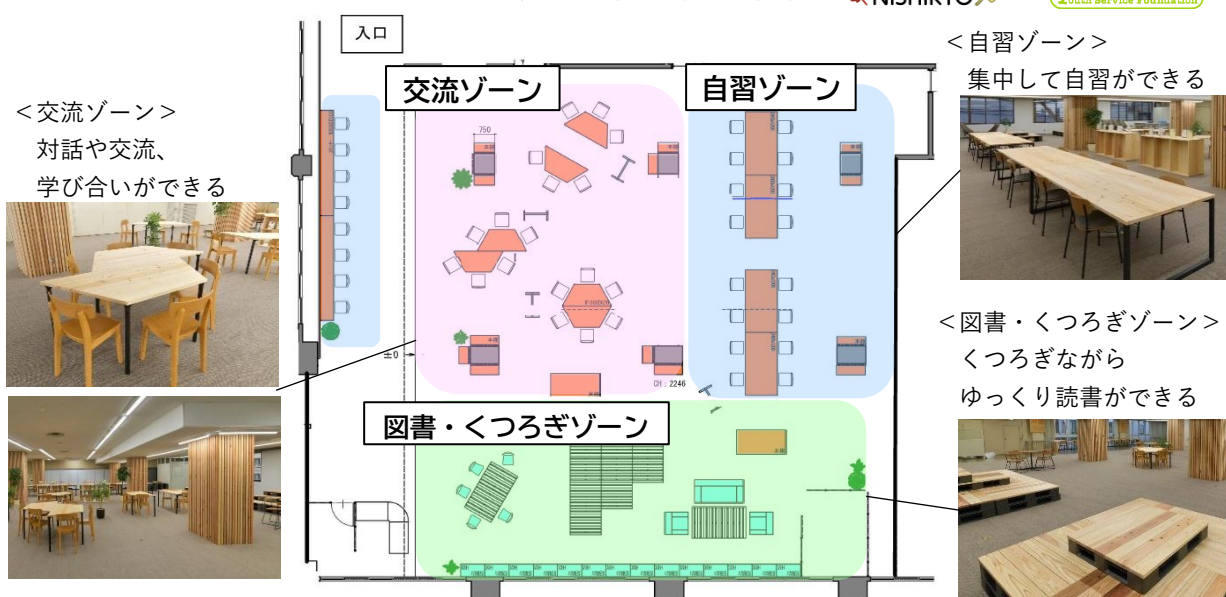
京都市では、すべての人に居場所と出番があるまちづくりを目指し、市民に身近な公共空間を地域住民の多様なコミュニティの交流の場として開く取組を進めています。

この度、西京区制50周年を契機に、西京区役所及び洛西支所において、みやこ杉木をはじめとする木製品を活用し、庁舎や庁舎前スペースを本のある居心地の良い空間にアップデートし、若者の居場所や地域の交流拠点となるサードプレイスを創り上げる事業を実施します。

1 西京区役所 中高生等の若者のためのサードプレイス事業「N i N i」（読み方:にに）の開始 ～「西京区役所×西京図書館×京都市青少年活動センター連携事業」～

中高生を中心とした若者が、安心して過ごせる新たな居場所を西京区役所西庁舎2階に設置します。木材を多用した温かみのある空間の中で、自習や読書、交流、くつろぎなど、その日の自分に合わせて過ごすことができます。





(1)概要

■事業コンセプト

「放課後の新しい選択肢～人・本・体験との出会いが生まれる場所～」

施設内には、利用者がその日の気分や目的に合わせて過ごせるよう、自習ゾーン／交流ゾーン／図書・くつろぎゾーンの3つのゾーンをゆるやかに設置します。図書館司書、京都市青少年活動センターのユースワーカー、区役所それぞれの専門性を掛け合わせ、若者とともに場を育てながら、本・人・地域との出会いを通じて、「やってみようかな」という小さな一歩が生まれる環境を目指します。

■事業名

「N i N i（読み方:にに）～点と線がつながり、新しい何かが生まれる場所～」

西京区役所/西庁舎/2階（Nishikyokuyakusho/Nishichosha/Nikai）を拠点に一人ひとりの興味や個性を起点として新しい出会いや学びを育む場。人や本、体験が結節点となり、交流を通してつながりが広がり、新たな挑戦や発見・ひらめきへとつながる、放課後の新しい選択肢になるようにとの想いを込めています。

(2)開始日時

令和8年10月8日（木）から毎週3日間（木曜日／土曜日／日曜日）

- ・木曜日 15時30分～21時
- ・土曜日 10時～18時
- ・日曜日 10時～18時

※年末年始など、実施していない日があります。

(3)場所

京都市西京区役所西庁舎2階（〒615-8522 京都市西京区上桂森下町25番地1）

(4)対象者

京都市内に在住、通学又は通勤する中学生・高校生年代を中心とした若者（13歳（中学生）～30歳）



京都市
CITY OF KYOTO



(5)利用料

無料

(6)利用環境

- ・約300㎡の空間で約50席利用可（席数は利用状況やレイアウトにより変動します）
- ・西京図書館が選書した若者向けの図書（※）約1,000冊を設置
※ティーン向けの文庫や漫画、自習に役立つ参考書等
- ・Free Wi-Fi 利用可、駐輪場あり、予約不要
- ・ドリンクや軽食の持ち込み可（庁舎内に無料給水スポットも設置）

(7)関係機関との連携

ア 西京図書館

西京図書館の職員を実施日に配置、運営及び図書レファレンスを実施

イ 京都市青少年活動センター

京都市青少年活動センターの機能を施設外に持ち出すアウトリーチ事業として展開。
青少年が社会のメンバーとして自立していくことを手助けする専門スタッフであるユースワーカーや学生ボランティアへの相談、交流を通じた居場所づくりの取組を実施
（週1回一部時間帯での実施を予定）

<京都市青少年活動センターについて>

青少年の福祉の増進、健全な育成及び自主的な活動の促進を目的に市内7か所に設置。指定管理者として、公益財団法人京都市ユースサービス協会が管理運営。青少年が社会のメンバーとして自立していくことを手助けする専門スタッフであるユースワーカーが、課題や困り事を抱えていたり、「やってみたい」という気持ちがありながらも、自ら行動を起こすことができない青少年を支援することで、青少年に「居場所」と「出番」を提供。

京都市情報館URL：<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000314992.html>

<公益財団法人京都市ユースサービス協会について>

公益財団法人京都市ユースサービス協会は、青少年の自己成長を支えるユースサービスの理念のもと、居場所づくりや自主活動支援、相談事業等に取り組んでいる。京都市青少年活動センターのほか、京都市子ども・若者総合相談窓口や、生活困窮世帯等の中学生学習支援事業、社会的養護自立支援事業、学校連携事業、京都若者サポートステーションなど、幅広い取組を実施。

<お問合せ先>

京都市西京区役所地域力推進室まちづくり担当

電話：075-381-7197



京都市
CITY OF KYOTO



2 洛西支所 nomadogi（ノマドギ）を活用した「まちなかりビング」事業の推進

洛西支所では、支所1階のロビーや支所前の歩行空間などの公共空間をまちに開き、交流空間として人々が集う「まちなかりビング」事業を実施しています。本事業の推進には、ロビー・歩行空間などの性質を保ちつつ、柔軟な利活用が必要となりますが、この度、その核となる可変可動式の木製ユニット家具「nomadogi」を導入しました。

■事業名

「まちなかりビング」事業

洛西支所1階ロビーや支所前の歩行空間を、単なる「通過空間」から人々が自然と足を止め、心地よく過ごせる「滞在空間（サードプレイス）」へと転換し、新たな気づきや出会いを生み出す空間に変えていくことを目的にしています。

普段は自然に滞在する空間として、地域住民の皆様をはじめとする来庁者や通行者に御利用いただきますが、支所やその周辺を舞台に行われるイベント開催時は、より多くの人々に楽しんでいただける空間を構築します。nomadogiと同様に、目的に応じて形や役割を柔軟に変えながら、プレイスメイキングを行い、ハード（空間）×ソフト（活動）の両面から人々が集い、交わる結節点となる場を創造します。



(1)可変可動式の木製什器「nomadogi」について

一般社団法人日本建築協会の下に、関西を中心に活動する組織設計事務所・ゼネコンの概ね35歳以下の若手設計者が集い組織されたU-35委員会により開発された可変可動式の木製什器で、イベントや様々な用途に使える木製ユニット家具です。「ノマド」が遊牧民を示す言葉であるとおり、木材が都市を循環し、変化し、なじむことで、様々な場所で活用されていきます。

- ・日本建築協会 <https://www.aaj.or.jp/>
- ・U-35委員会 <https://www.aaj.or.jp/u35>
- ・nomadogi <https://www.aaj.or.jp/nomadogi/>

(2)今後の展開

普段は nomadogi を核とした滞在空間のアップデートを進めるとともに、総合庁舎内にある洛西図書館とも連携し、ロビーにも図書が置かれるなど、これまでの垣根を超えた図書空間の広がりにより、本を介して自然に人々が滞在できる空間づくりを進めます。



京都市
CITY OF KYOTO



併せて、支所やその周辺で行われる催しにおいても積極的に nomadogi を活用しながら、まちの様々な場所で交流が生まれるきっかけになるように、地域の方にも nomadogi を使用していただける仕組みを構築していきます。

<お問合せ先>

京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 総務・防災担当

電話：075-332-9185